

2012年3月期決算説明会

2012.5.23

NIPPON YAKIN

日本冶金工業株式会社

本日のアジェンダ

1. 2012年3月期決算サマリー

常務取締役経理部長 久保田 尚志

2. 足元の状況と競争力強化に向けた取組み

代表取締役社長 杉森 一太

＜参考＞主要データ(連結ベース)

2012年3月期決算のポイント

▶ 4期ぶり(2008年3月期以来)に経常黒字へ転換

- ① ステンレス一般材の落ち込みを高機能材の収益拡大でカバーするとともに、製造部門などのコストダウンによる効果も寄与して経常黒字を達成
- ② 販売量は、ステンレス一般材部門が国内・輸出とも低水準にとどまったが、高機能材部門は前期比1割の増加
- ③ 今期は、震災復興による需要回復も期待されるが、円高継続、電力価格上昇、欧州経済混乱などの懸念材料があるため、引き続き厳しい経営環境を想定
- ④ 平成23年度に策定した中期経営計画に基づく諸施策を着実に実行し、安定収益の確保を目指す

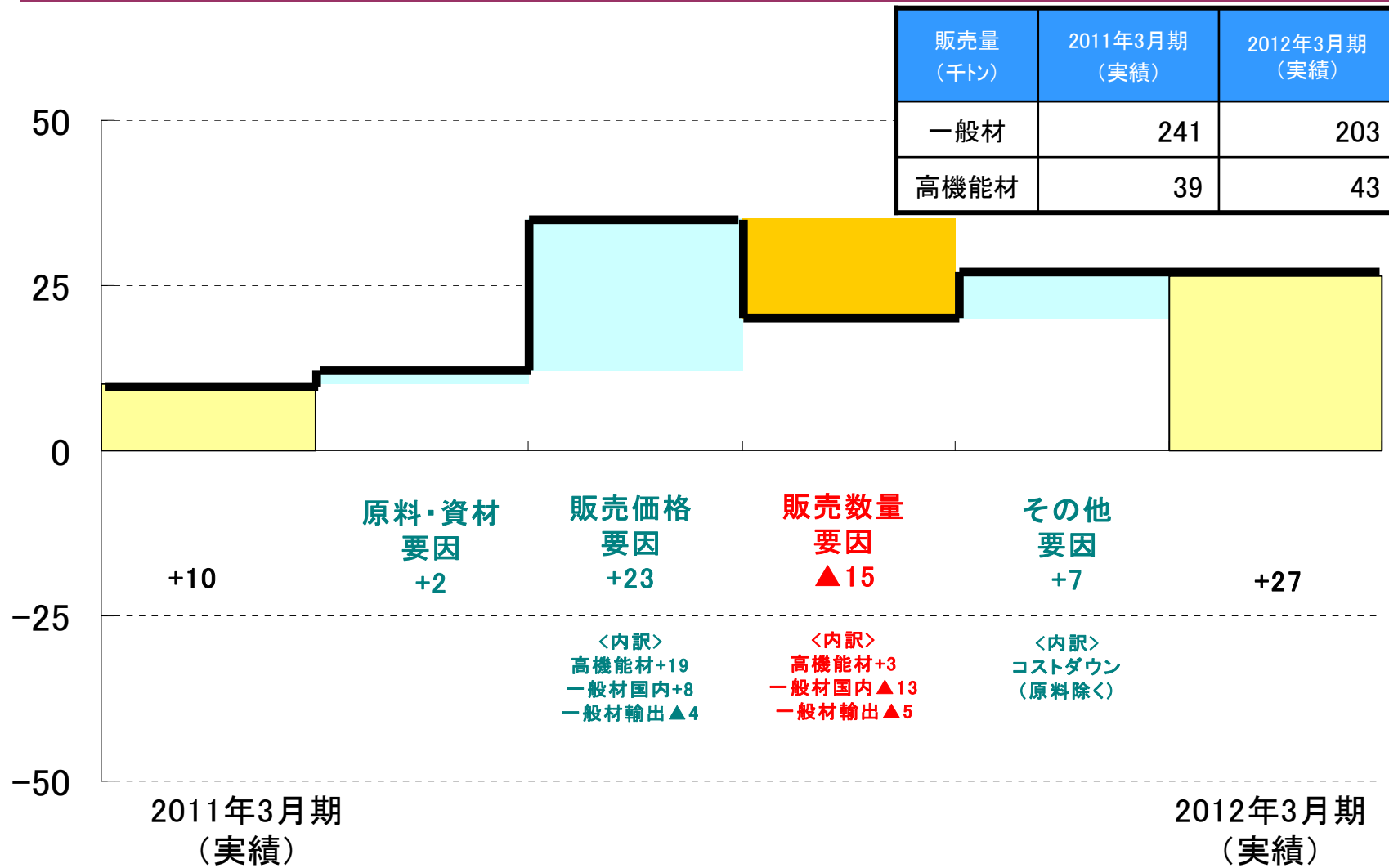
損益計算書 連結 概要

	2011年3月期 通期実績 (億円)	2012年3月期 通期実績 (億円)	前年比 (億円)	前年比 (%)
売上高	1,388	1,349	▲ 39	▲ 2.8
営業利益	10	27	16	156.5
経常利益	▲ 4	14	18	-
当期純利益	▲ 105	8	113	-
ROA(%)	0.8	1.9		
高機能材部門 売上高比率(%)	31.1	38.0		

(注)ROAは(営業利益+受取利息・受取配当金)／期初・期末平均総資産

(ご参考)ニッケルLME期中平均価格:2011年3月期10.68US\$/Lb、2012年3月期9.56US\$/Lb。

営業利益変動の要因分析(前年同期比較:億円)



貸借対照表 連結 概要

	2011年3月末 (億円)	2012年3月末 (億円)	前期比増減 (億円)	2011年3月末 構成比 (%)	2012年3月末 構成比 (%)
現金・預金	69	151	82	4.7	10.1
売掛債権	237	238	2	16.2	15.9
たな卸資産	319	291	▲ 28	21.8	19.4
その他流動資産	8	4	▲ 3	0.5	0.3
固定資産	831	814	▲ 17	56.8	54.3
【資産合計】	1,463	1,499	35	100.0	100.0
借入金・社債	640	637	▲ 3	43.7	42.5
その他負債	497	483	▲ 14	34.0	32.2
【負債計】	1,137	1,120	▲ 17	77.7	74.8
【純資産計】	326	378	52	22.3	25.2
自己資本比率(%)	22.3	25.2			

キャッシュフロー計算書 連結 概要

	2011年3月期 通期実績(億円)	2012年3月期 通期実績(億円)	前年比 (億円)
営業活動によるキャッシュフロー	▲ 4	85	89
税金等調整前中間(当期)純利益	▲ 19	0	19
減価償却費	54	50	▲ 4
売上債権の増加額(△)又は減少額	▲ 37	▲ 2	35
たな卸資産の増加額(△)又は減少額	▲ 59	28	87
仕入債務の増加額又は減少額(△)	39	▲ 8	▲ 48
法人税等の支払額	▲ 7	1	7
その他	24	17	▲ 7
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 33	▲ 36	▲ 4
有形・無形固定資産の取得による支出	▲ 29	▲ 42	▲ 13
その他	▲ 3	6	9
フリー・キャッシュフロー	▲ 37	49	86
財務活動によるキャッシュフロー	35	34	▲ 1
長短借入金の純減少額(△)	41	▲ 3	▲ 44
株式発行による調達	-	41	41
その他	▲ 6	▲ 4	2
現金及び現金同等物の増加額又は減少額(△)	▲ 1	84	85

2013年3月期連結業績予想

	2012年3月期	2013年3月期		
	通期実績 (億円)	今回予想 (億円)	前年比 (億円)	前年比 (%)
売上高	1,349	1,300	▲ 49	▲ 3.6
営業利益	27	35	8	32.0
経常利益	14	15	1	10.7
当期純利益	8	10	2	19.2

(前提)2013年3月期ニッケルLME期中平均価格：8.50US\$/Lb、為替レート 82.0円。

本日のアジェンダ

1. 2012年3月期決算サマリー

常務取締役経理部長 久保田 尚志

2. 足元の状況と競争力強化に向けた取組み

代表取締役社長 杉森 一太

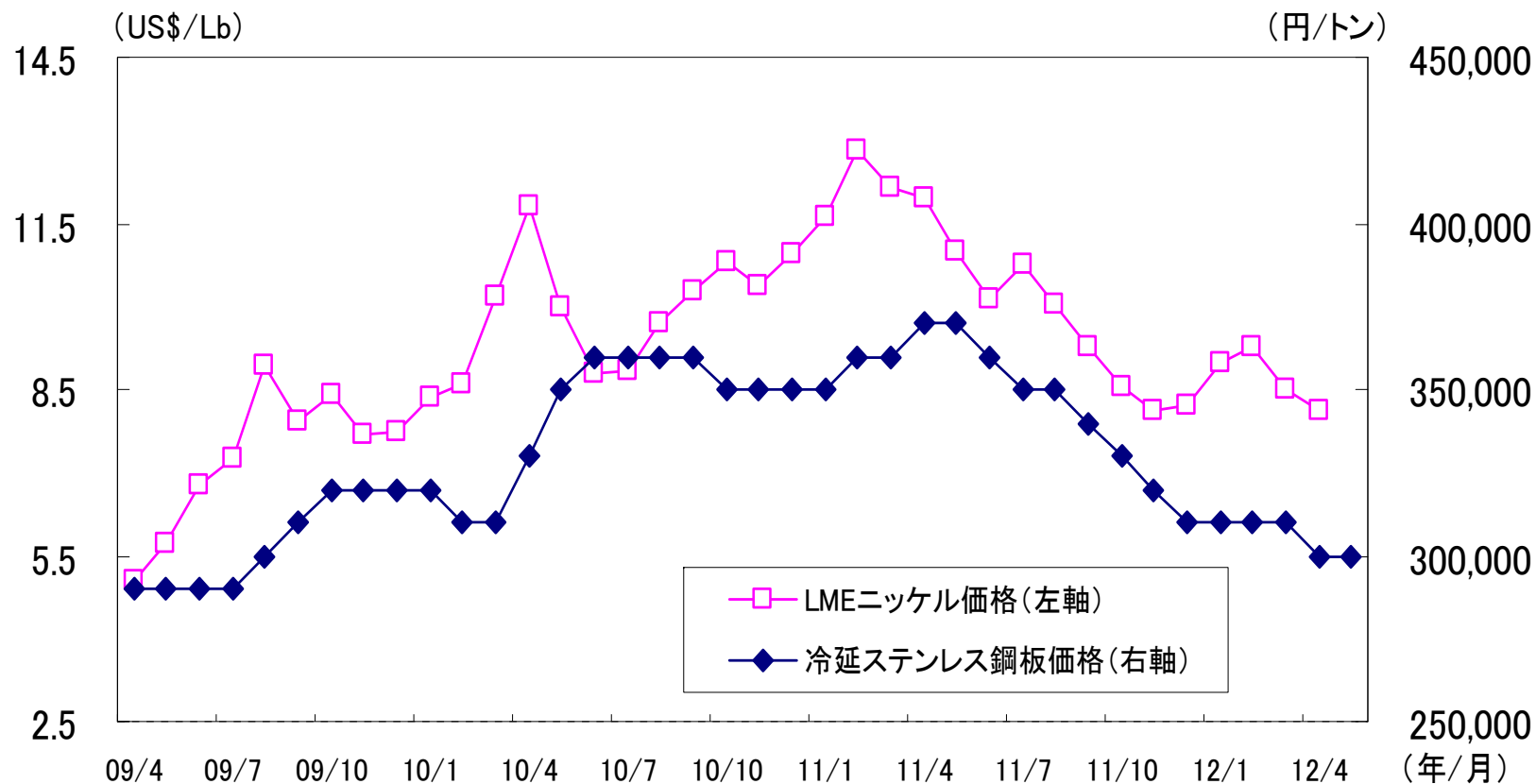
＜参考＞主要データ(連結ベース)

ステンレス一般材の状況

	(1)国内マーケット	(2)海外マーケット
前年度下期	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 市中外在庫はほぼ適正レベルで推移したが、円高・ニッケル低落傾向・震災復興の遅れなどの影響から、実需見通しが不透明であったため、全般的な新規発注は年度を通じて手控えられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 欧州の金融不安、タイの洪水、中国の金融引締めなどの影響から、需要の盛り上がりが見られず。 ✓ 円高も加わり販売数量が伸び悩み。
今年度見通し	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ニッケル価格や為替動向などの不透明、実需を牽引する需要分野が見られないことから、おおむね前年度並みの需要レベルで推移すると予想。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ドルベースで低い価格水準と足元の円高水準が続くことを前提に、利益確保できる品目に絞ったマーケティングを継続。

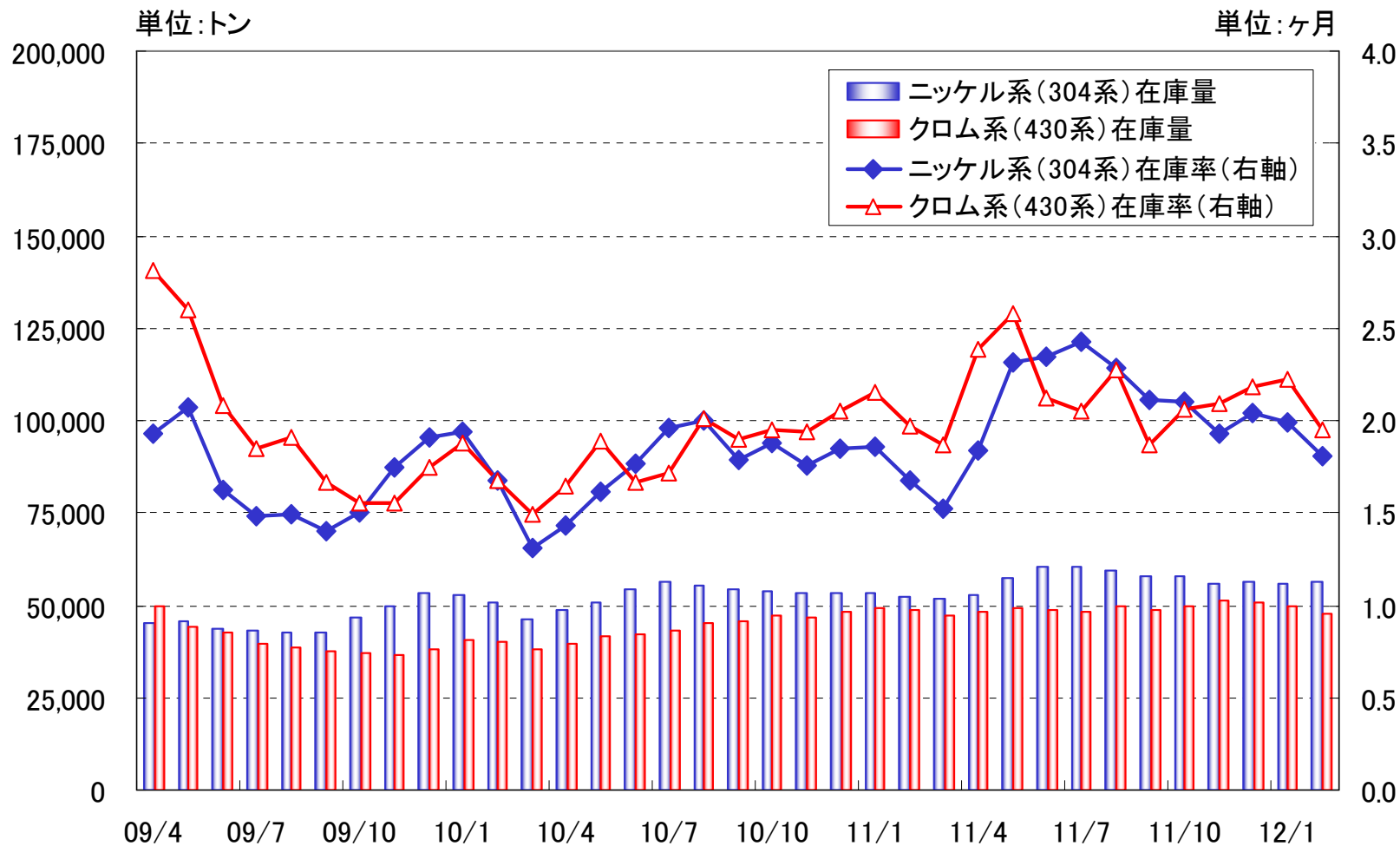
ニッケル・ステンレス価格の推移(月次)

▶ニッケル価格は2011年11月をボトムに上昇したが2月以降下落、足元は\$8/lb前後で推移



(注1) 冷延ステンレス鋼板: 東京SUS304種18-8、2.0ミリ。
 (注2) 2012年5月の冷延ステンレス鋼板価格は直近。
 (出所) 鉄鋼新聞。

汎用ステンレス(ニッケル系・クロム系)在庫の推移(月次)

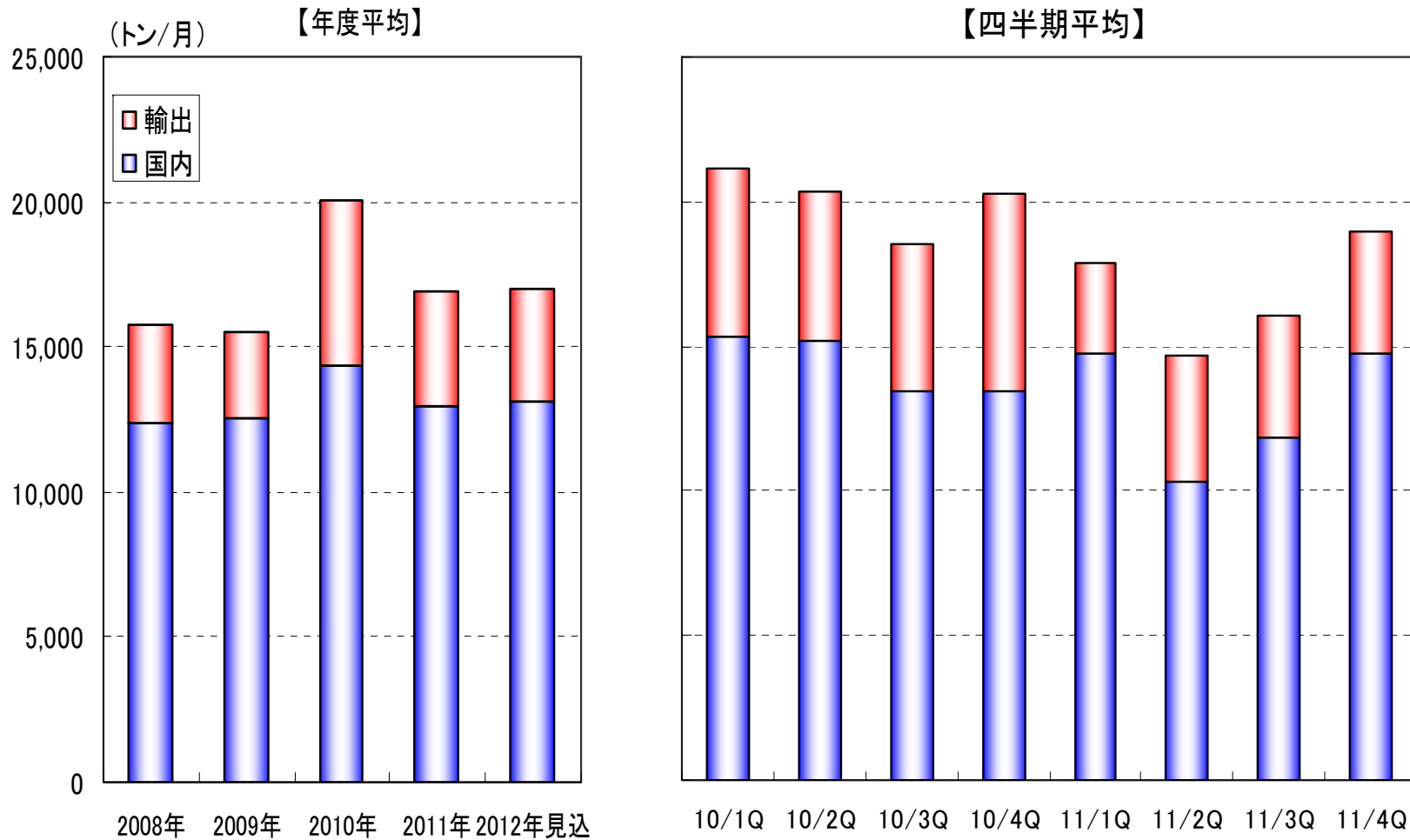


(出所) 全国ステンレスコイルセンター工業会。

(年/月)

販売量実績及び見込み《ステンレス一般材》

➤ 第2四半期をボトムに国内向けは回復傾向、輸出向けは円高継続により伸び悩み

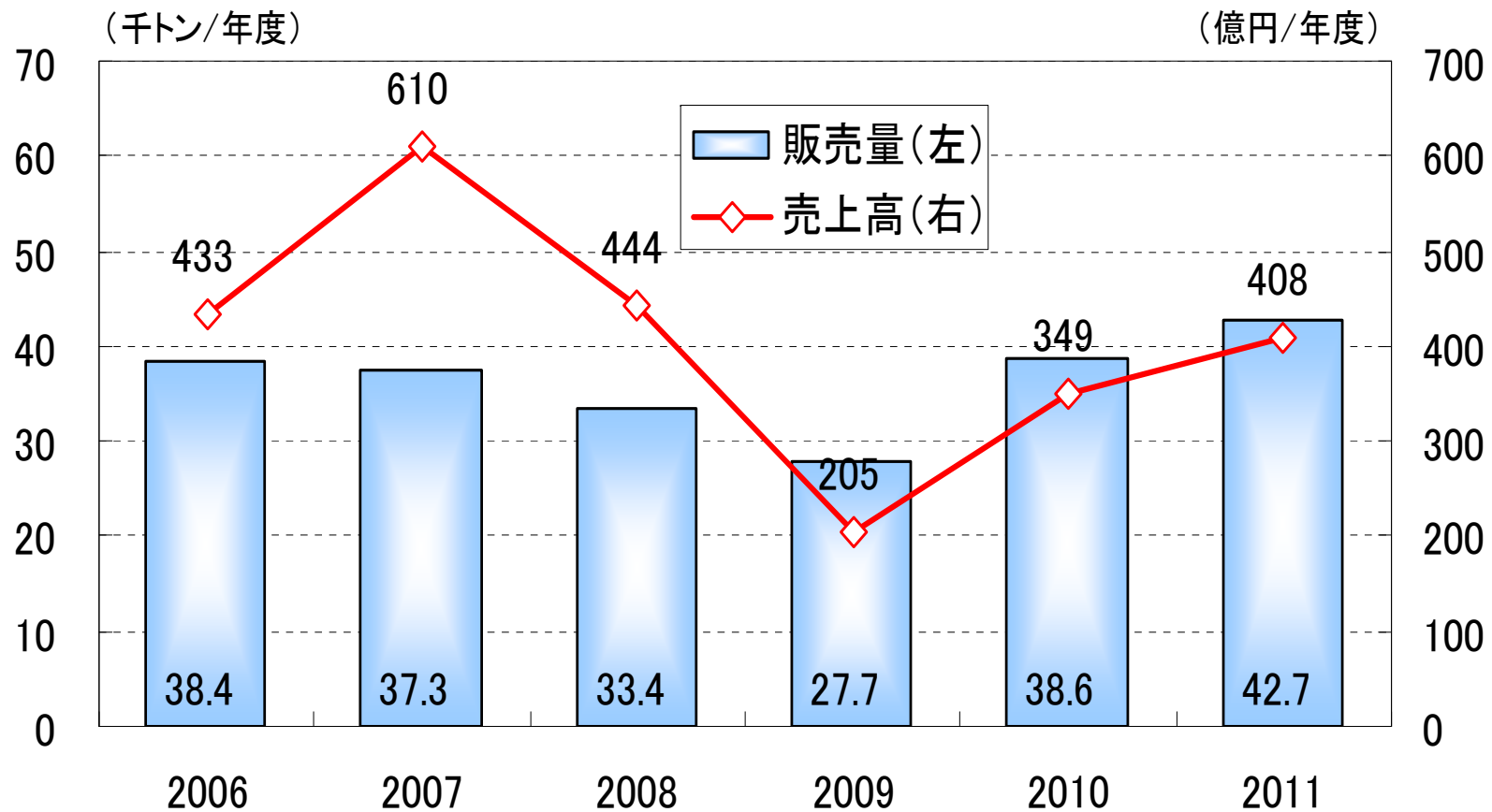


高機能材部門の状況

	(1)国内マーケット	(2)海外マーケット
前年度下期	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中国向け石化プラント関連の間接輸出、発電所向けボイラー関連、貯水池関連、航空機関連など、比較的まとまった案件を受注し、例年比高水準の販売数量を確保。 ✓ 円高の継続などから市況が回復しているとはいえない状況。 ✓ 原子力関連については、全計画がストップしており進展無し。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 欧州は財政不安問題など混乱あったが、上期比微増。 ✓ 中国は金融引締の影響により、上期比微減だが月を追って悪化。 ✓ 米国は他地域に比べ比較的安定した環境にあり、上期並みの数量を確保。 ✓ 韓国向けは好調、上期比約3割の増加。
今年度見通し	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 円高水準の持続により、間接輸出関連需要は低迷が続くと予測。 ✓ 航空機関連、環境関連需要については、案件の具体化が見られ需要回復傾向にある模様。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 欧州向けは先行き不透明により低調推移と予想。 ✓ 中国の政府関連物件が動き出しているものの、実行段階への移行に時間を要しており、上期販売実績となるかは不透明。個別アイテムでは、多結晶シリコン製造装置向け高Ni耐熱合金が、多結晶シリコン価格の低迷により数量減。 ✓ 韓国向けは欧米メーカーとの競争激化。 ✓ 年間契約が増加している電子材料用途やシーズヒーター用材は堅調を維持すると予想。

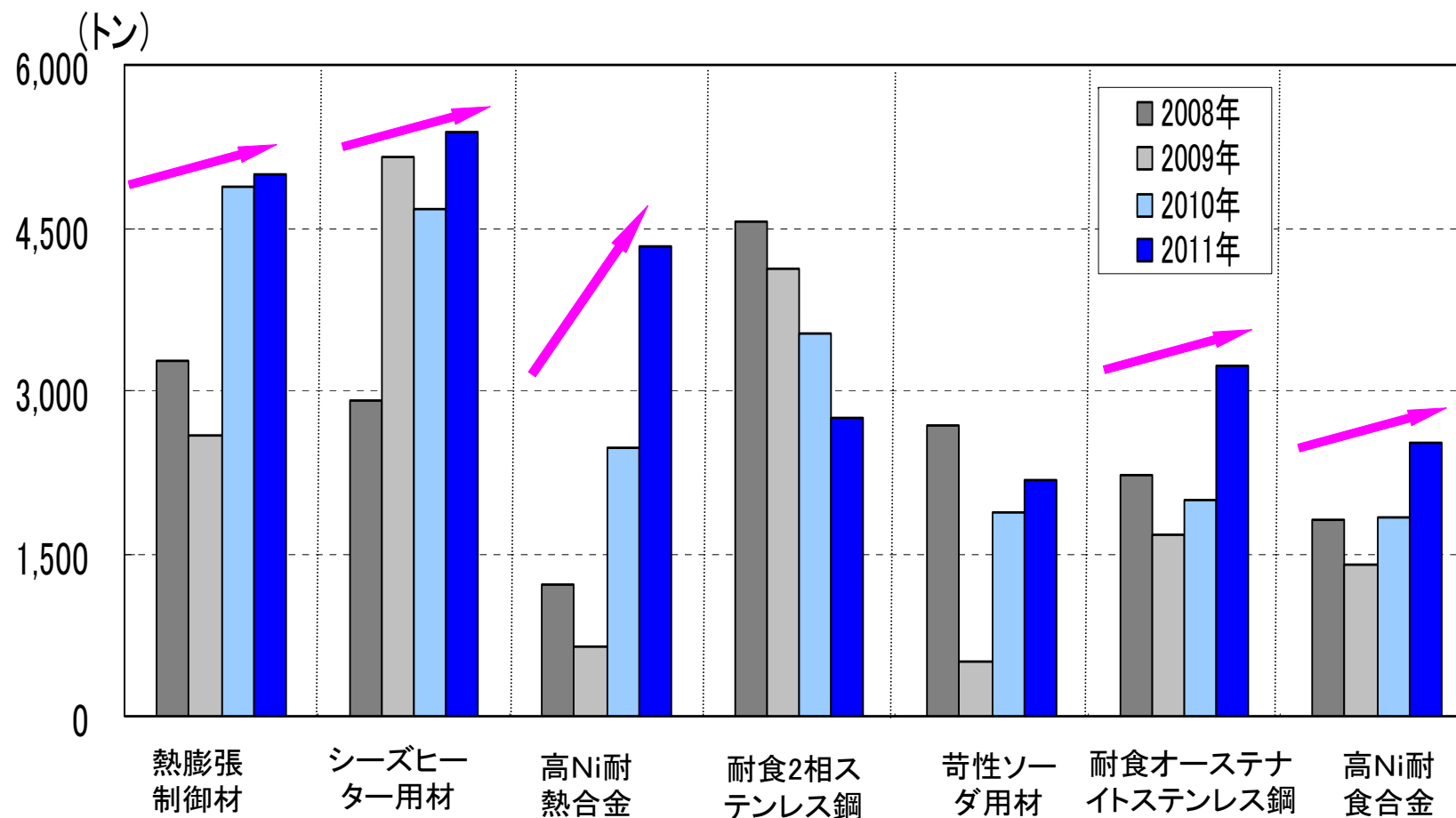
販売量及び売上高 《高機能材部門合計》

▶ 販売量、売上高とも着実に増加、特にエネルギー関連の受注が上期好調



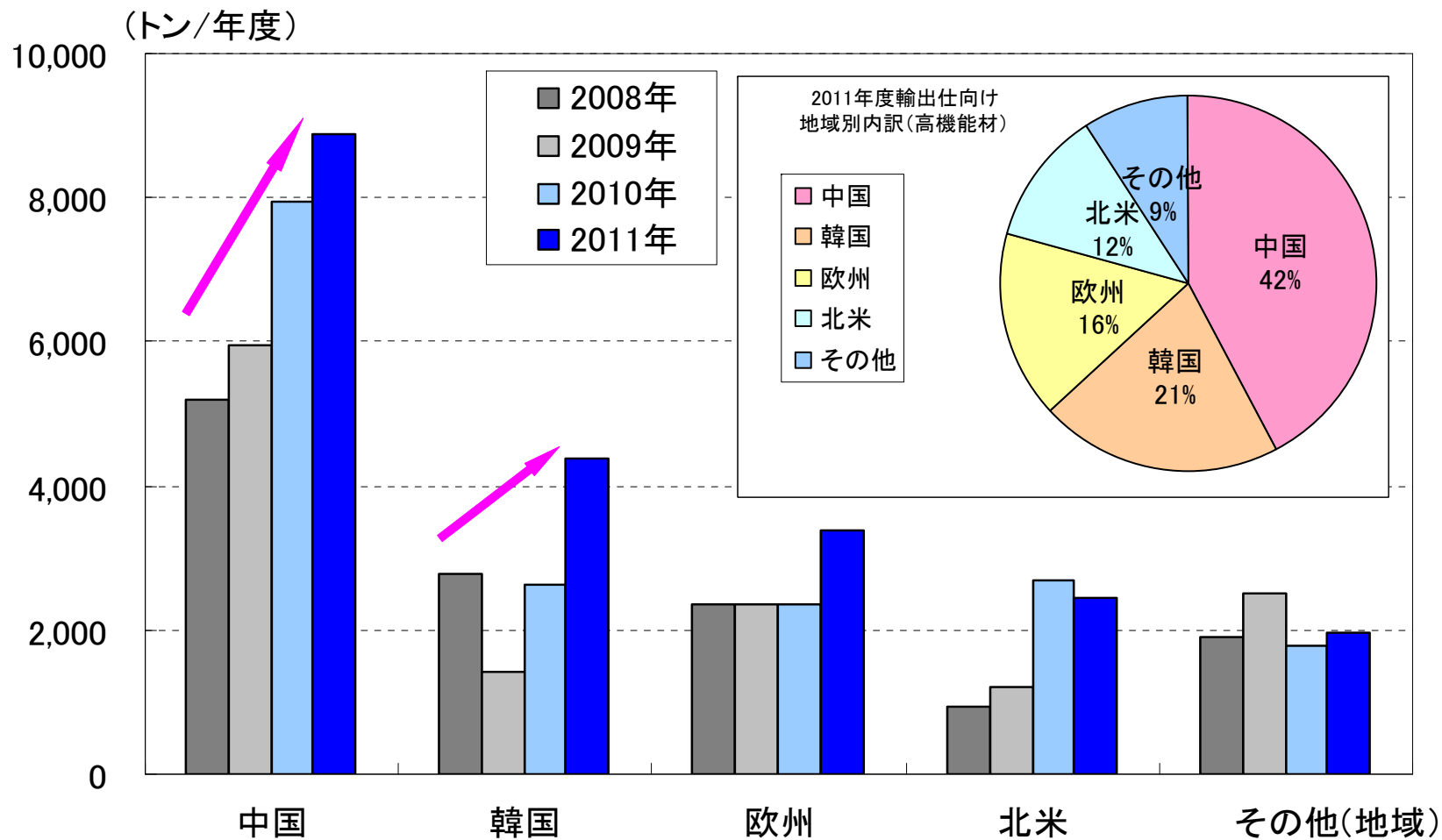
高機能材の分類・用途別分類の推移(販売量)

▶ エネルギー分野で使用される高Ni耐熱合金の増加が顕著



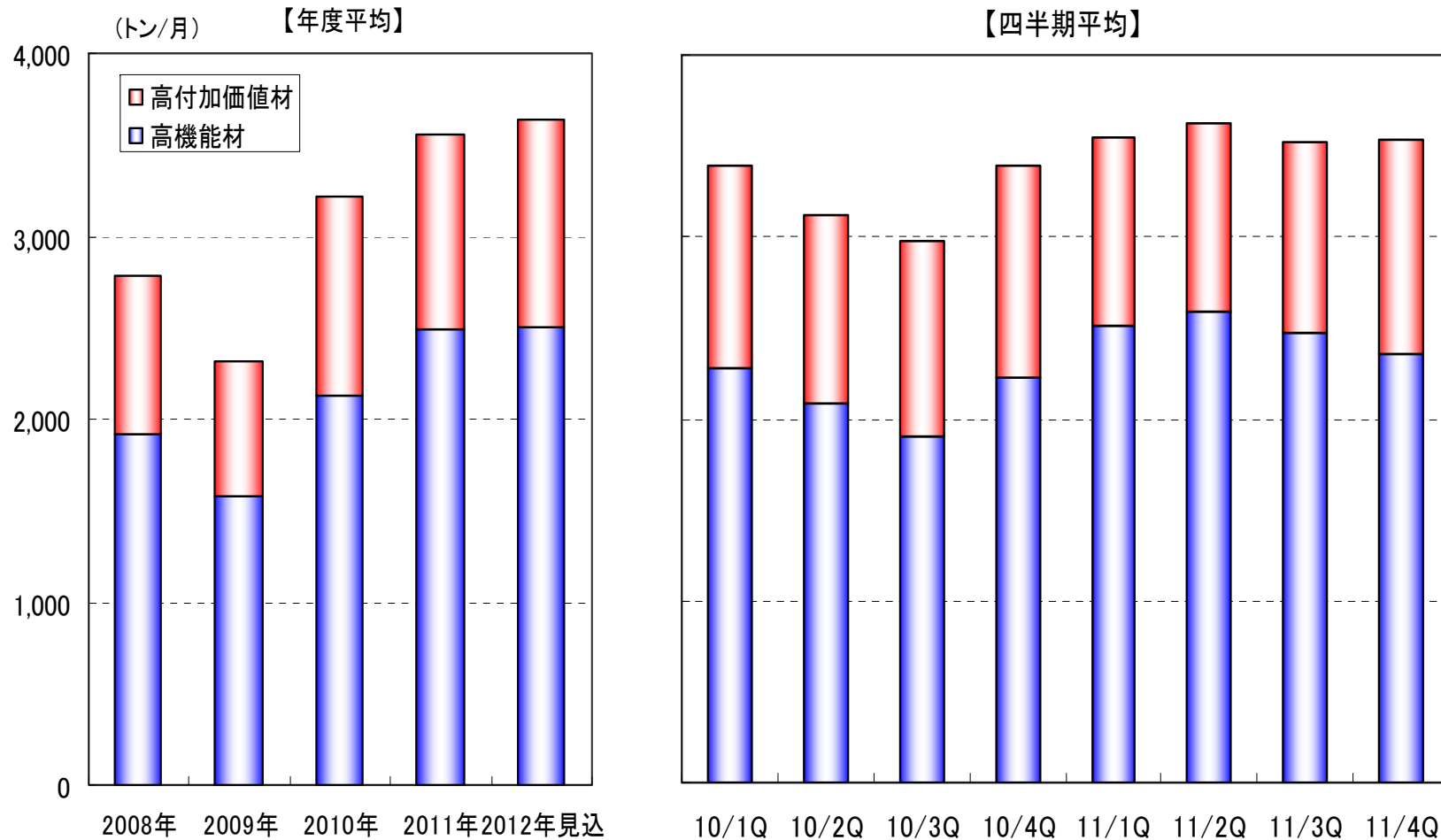
高機能材の輸出仕向け地別推移(販売量)

➤ 中国・韓国向けが顕著に増加し年間で6割超を占める



販売量実績及び見込み《高機能材部門合計》

▶ 前年度から確実に増加し、四半期毎でも堅調に推移

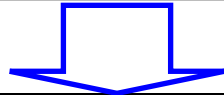


競争力強化に向けた取組み

➤ 高機能材製造プロセスの革新(汎用ルート化)

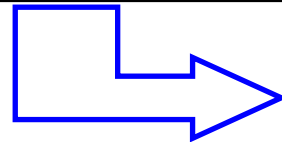
従来の製造プロセスでは・・・

- ・疵取り等の余分な追加工程を実施
- ・メイン設備と較べて効率や生産性で劣る真空脱ガス精錬炉等のサブ設備を使用
- ・低い歩留まり
- ・高価な高純度原料を使用



汎用ルート化による改善点

- ・工程品質改善による余分な追加工程の省略
- ・技術改善でメイン設備の真空アルゴン精錬炉ルートに変更して効率化
- ・工程品質改善により歩留まりの大幅な向上
- ・精錬技術の向上で自社精錬フェロニッケル、購入スクラップなどの安価原料を使用



高機能材の更なる競争力強化



グループ再編による競争力強化

- 合併効力発生日：2012年4月1日
- クリーンメタル(株)と(株)八千代ステンレスセンターを合併し、工場設備の再編統合を実施することでグループ全体として効率的事業運営を推進
- クリーンメタル(株)を存続会社とする吸収合併を実施

商号	クリーンメタル(株) (連結子会社)(存続会社)	(株)八千代ステンレスセンター (非連結子会社)(消滅会社)
所在地	千葉県浦安市	千葉県八千代市
主な事業内容	ステンレス鋼特殊鋼及び加工品の 販売並びに加工	ステンレス鋼板、鋼帯の受託加工
主な株主構成	日本冶金工業株式会社 70% ナス物産株式会社 30%	日本冶金工業株式会社 65% ナス物産株式会社 35%

昨年度の取組み

①宮津海陸運輸（2011年4月発足）

⇒日本冶金工業(株)大江山製造所内での効率的な荷役作業、設備保全作業の実現

②ナストーア溶接テクノロジー（2011年7月発足）

⇒経営効率を最大限に発揮すべくナストーア(株)から溶接機部門を分社化

③ナステック（2011年10月発足）

⇒日本冶金工業(株)川崎製造所内での効率的な副産物のリサイクル事業、精整作業受託、梱包作業受託の実現

海外需要の積極的取組み

- 米国(シカゴ)に加え、中国(上海)・欧州(ロンドン)で現地法人設立
- グループ会社においても海外展開を強化



高付加価値材紹介 ステンレス床用鋼板

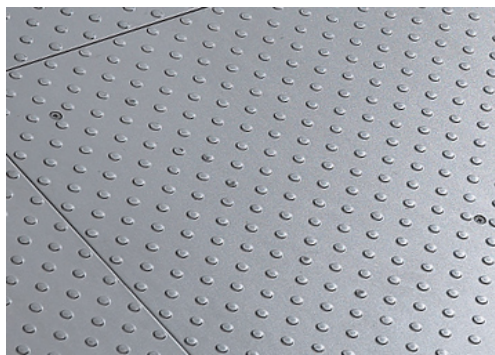


①中央部が電動門扉

- ・ポルカプレートは当社独自(特許も保有)のもので、板の表面に水玉模様の凸部を配した床用ステンレス鋼板です。
- ・床用ステンレス鋼板は縞模様のチェッカープレートが世界中で広く知られておりますが、ポルカプレートはドイツ労働安全協会が実施する耐すべり評価試験においてチェッカープレートより優れる最高クラスの評価を受けております。
- ・今回の例では大学のゲートにご採用いただきました。以前から食品工場等の床面に使用される例は多かったのですが、今回のような使用例は初めてです。



②電動門扉が水平まで倒れ床面へ



③ポルカプレート表面

①②画像提供:大日産業株式会社殿

区分	鋼種名	化学成分等		
		ニッケル(%)	クロム(%)	備考
高付加価値材	NAS 304(SUS 304)ナスポルカプレート	8	18	特許 第2992021号

配当について

➤ 2012年3月期の配当

2012年3月の配当は誠に遺憾ながら見送ることとさせていただきます。

➤ 2013年3月期の配当予想額

経営環境は依然厳しく先行きへの不透明感があることから現時点では未定としております。今後の業績を見極め、開示可能になった時点で速やかにお知らせ致します。

本日のアジェンダ

1. 2012年3月期決算サマリー

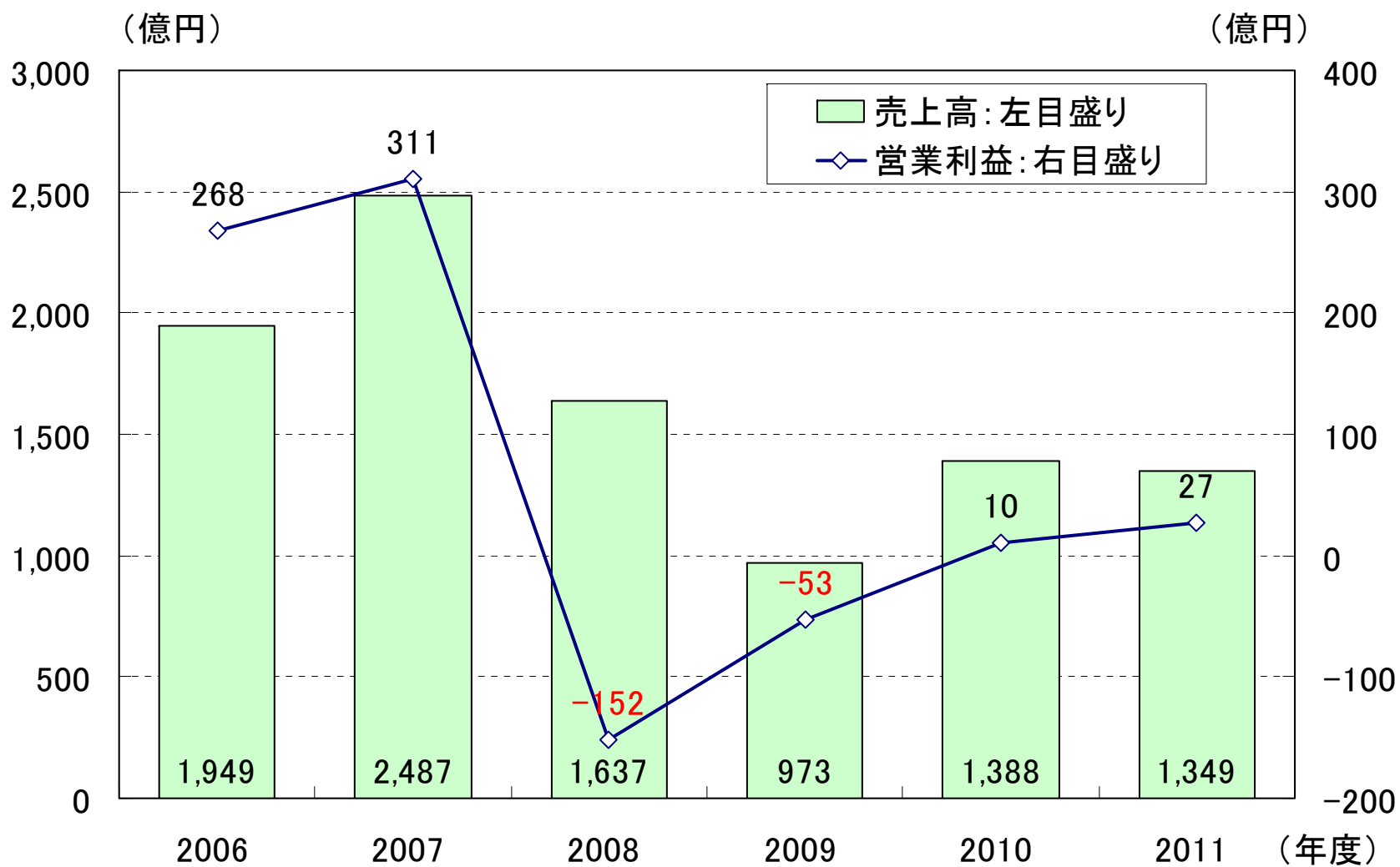
常務取締役経理部長 久保田 尚志

2. 足元の状況と競争力強化に向けた取組み

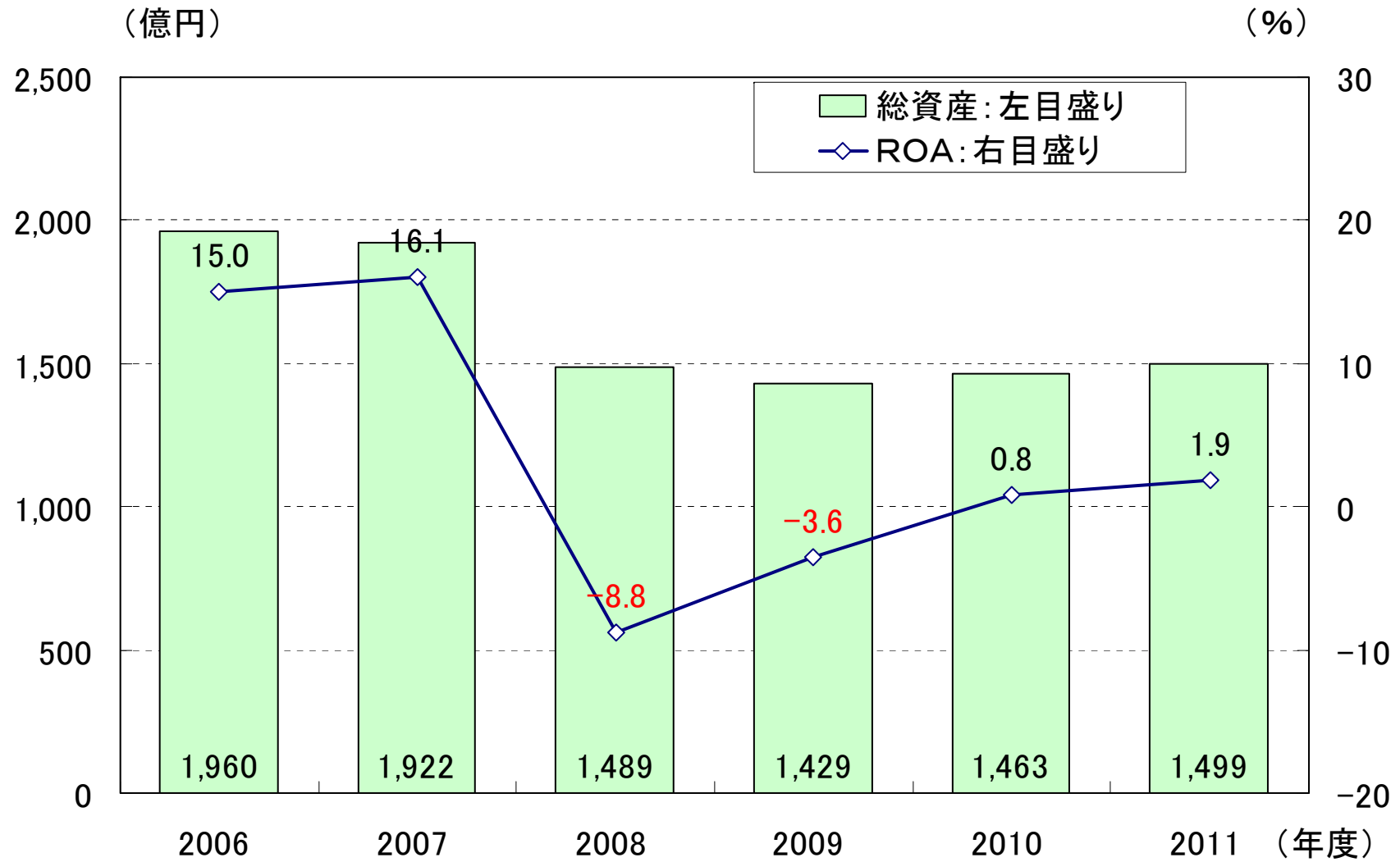
代表取締役社長 杉森 一太

<参考> 主要データ(連結ベース)

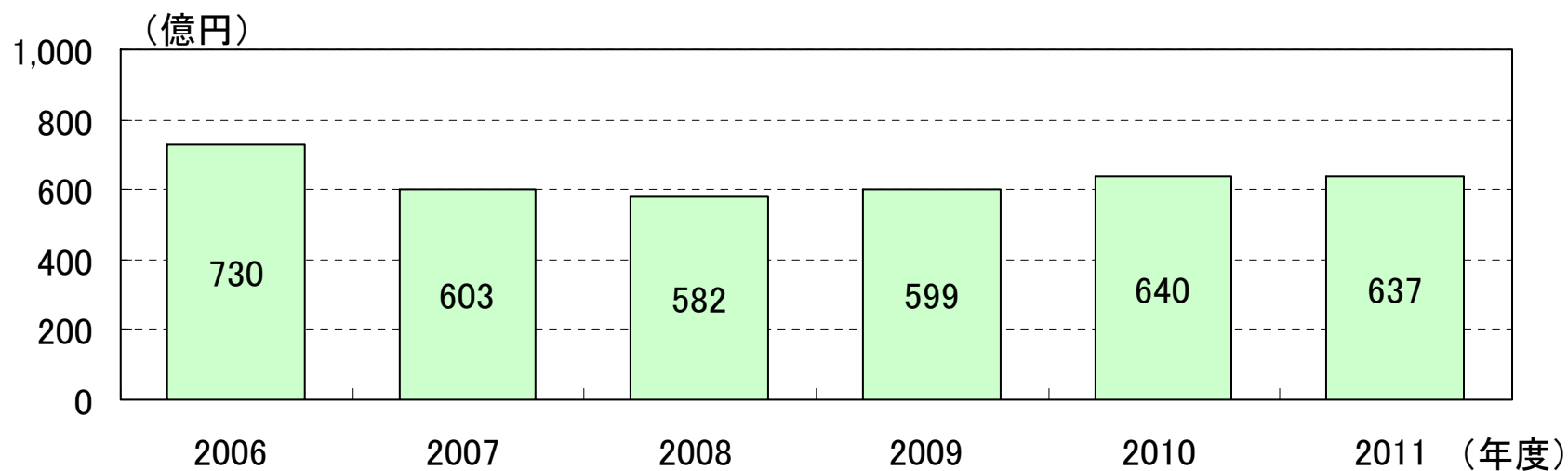
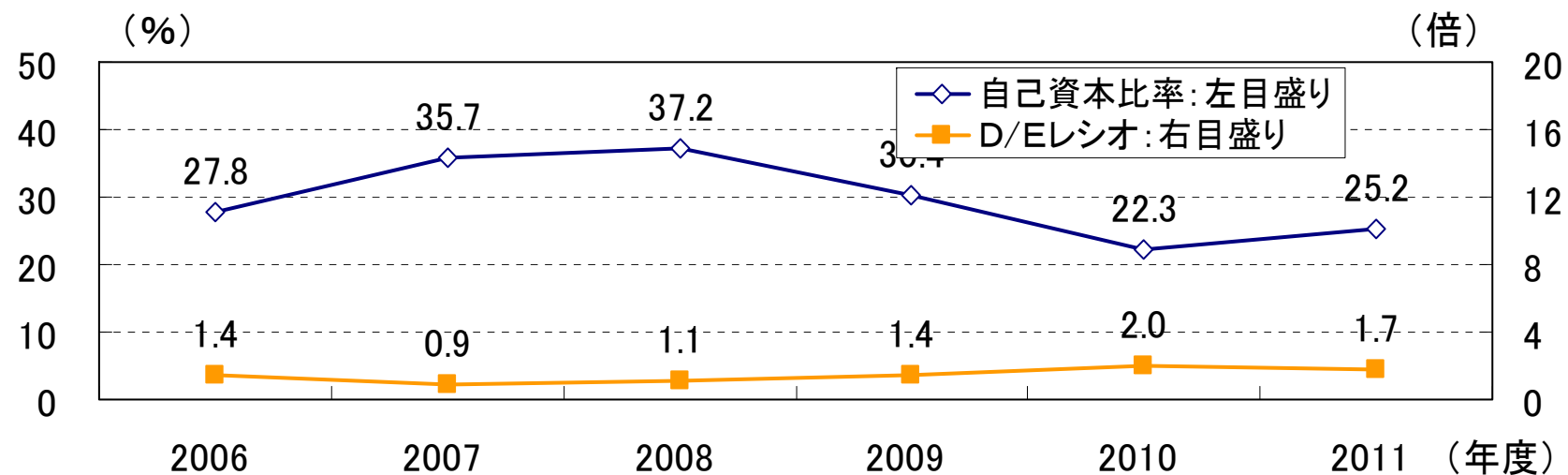
売上高・営業利益



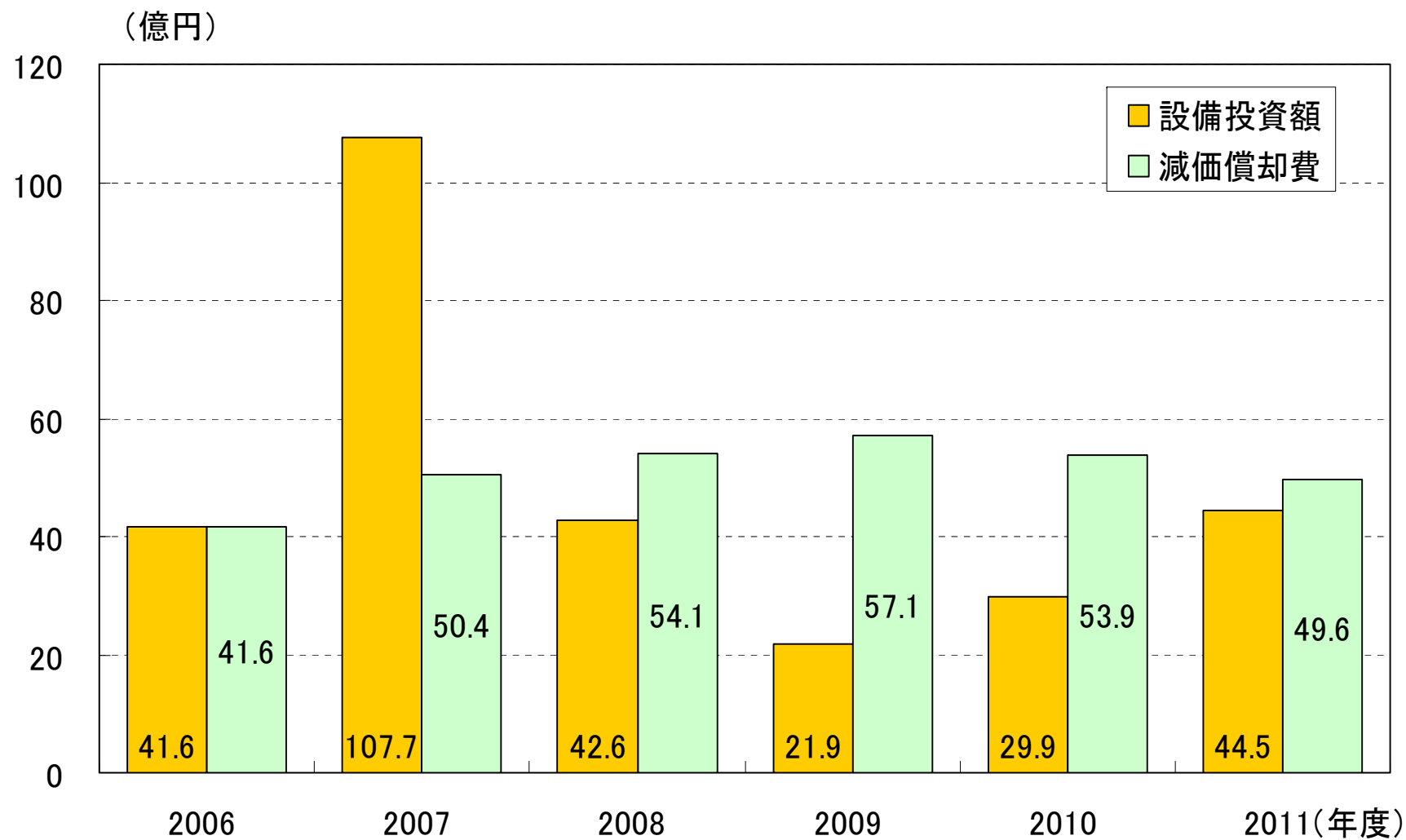
総資産額・ROA



有利子負債残高と自己資本比率、D/Eレシオ



設備投資(連結ベース)



歴史あるステンレスメーカーから新しいステンレス特殊鋼メーカーへ

日本冶金工業

本資料のいかなる内容も、弊社株式の投資勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料に掲載された計画や見通し、予測等は、現時点で入手可能な情報に基づいた弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切の責任を負いかねますので、ご承知下さい。

【本件に関するお問い合わせ】

日本冶金工業株式会社 IR事務局

Tel. 03-3273-3613 /

E-MAIL. irjimu@nyk.co.jp